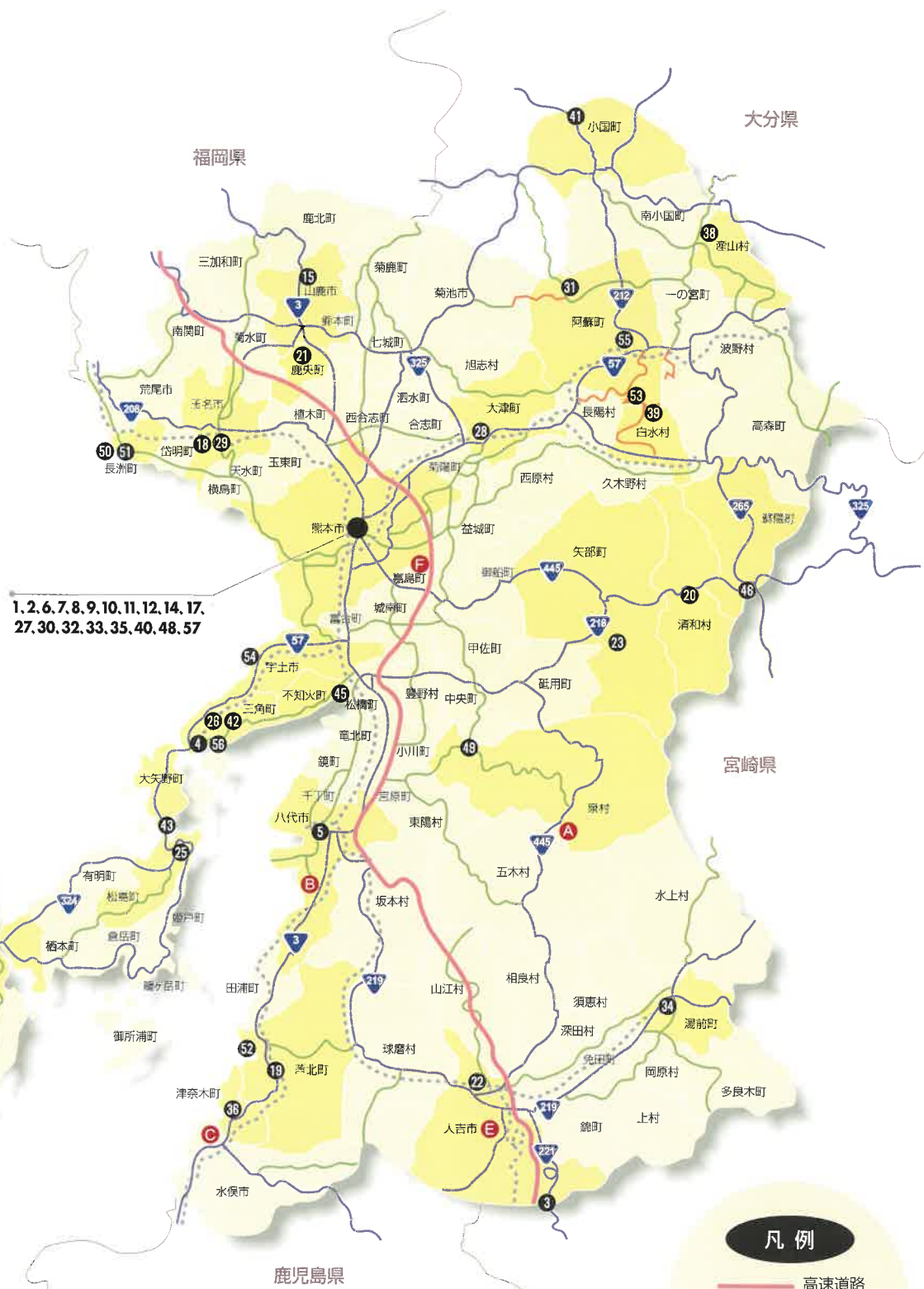


くまもとアートポリス・プロジェクト・マップ

- 1 熊本北警察署
- 2 県営保田窪第一団地
- 3 加久藤フェリターミナル
- 4 三角港フェリターミナル
- 5 八代市立博物館・未来の森ミュージアム
- 6 熊本市花畑パークトイレ
- 7 熊本市上江津湖畔トイレ
- 8 熊本市営新地団地A
- 9 熊本市営新地団地B
- 10 熊本市営新地団地C
- 11 熊本市営新地団地D
- 12 熊本市営新地団地E
- 13 県道橋梁整備(基礎調査)
- 14 熊本市営託麻団地
- 15 光のまちづくり(まちづくり構想)
- 16 牛深ハイヤ大橋
- 17 県営帯山A団地(公開コンペ)
- 18 五名市文化施設構想
- 19 瀧の香橋
- 20 清和文楽館
- 21 県立装飾古墳館
- 22 球磨工業高校伝統建築コース加工組立室棟
- 23 鮎の瀬大橋(工事中)
- 24 公園ファンチャータデザイン、同整備マニュアル(構想)
- 25 松島町合津終末処理場管理棟
- 26 石打ダム管理所
- 27 県営新渡園団地
- 28 大津町第二庁舎・町民交流施設(構想)
- 29 玉名天望館
- 30 大甲橋景観整備(構想)
- 31 草地畜産研究所畜舎
- 32 再春館レディスレジデンス
- 33 県立美術館分館
- 34 湯前まんが美術館・公民館
- 35 県営竜蛇平団地
- 36 つなぎ物産ギャラリー
- 37 教会の見えるチャペルの鐘展望公園
- 38 花の温泉館
- 39 TOTO AQUAPIT ASO(阿蘇山上公共トイレ)
- 40 白川橋景観整備
- 41 杖立橋+Pホール
- 42 石打ダム資料館
- 43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所
- 44 うしぶか海鮮館
- 45 不知火文化プラザ(工事中)
- 46 馬見原橋
- 47 天草工業高校実習棟(工事中)
- 48 熊本北警察署坪交番
- 49 ふれあいセンターいずみ
- 50 有明フェリー長洲港ターミナル
- 51 荒尾警察署長洲交番
- 52 あしきた青少年の家(工事中)
- 53 草千里公衆トイレ(工事中)
- 54 宇土マリーナクラブハウス(工事中)
- 55 阿蘇・散居園(公開コンペ)
- 56 漁業取締事務所
- 57 水前寺江津湖公園管理棟(設計中)

熊本県内各地に建設・計画された
くまもとアートポリスの建造物。
各地のまちづくりや文化交流の拠点になっています。



- 1997年度
くまもとアートポリス推進賞
- A 久遠子古代の里
 - B 養老老人ホーム八代市立保寿寮
 - C 水俣市営洗切団地
 - D 丸尾焼工房
 - E 人吉の倉Ⅱ/平井邸
 - F 浮島馬場水辺公園

● 発行—くまもとアートポリス事務局 熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺6-18-1 TEL 096-383-1111(内線6215/6230) FAX 096-384-9820
 ● 撮影—石黒守、石丸捷一、大野繁、岡本公二、北島俊治、清島靖彦、富重清治、宮井政次、八木光保
 「新建築社」写真部、熊本県広報課、くまもとアートポリス事務局、中央印刷紙工(株)

Kumamoto Artpolis News

20

くまもとアートポリスニュース第20号
1998年3月発行

SPECIAL EDITION

進行プロジェクトを歩く

◆漁業取締事務所◆天草工業高校実習棟◆鮎の瀬大橋◆あしきた青少年の家

阿蘇町農村公園アート・プロジェクト講演会

◆堀正人氏

くまもとアートポリス参加建築家に聞く

◆吉松秀樹氏

アートポリスのある風景—阿蘇町



K.A.P

kumamoto artpolis

特集
進行プロジェクトを歩く

SPECIAL
EDITION

学生たちはアートポリスをこう考える

地域に根ざした建造物を 後世に残していくことに意味がある。



くまもとアートポリスでは、次々に新しいプロジェクトが進んでいます。
現在進行形には、竣工後とは違う何かをキャッチすることができるのではないかと。
新しい試みとして、建築を学ぶ地元の学生の皆さんに、
4つのプロジェクトを見学していただきました。

プロジェクト見学隊

中川 明子

(熊本大学大学院自然科学研究科環境科学専攻博士課程1年)

野口 史剛

(熊本大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程1年)

宮本 茂史

(熊本大学工学部環境システム工学科4年)

古賀 了規

(熊本大学工学部環境システム工学科4年)



漁業取締事務所

(古賀) デザインの特徴は、海に向かってオープンだけど、裏の集落に向かってはクローズであること。建物と集落とのつながりが気になりました。

(宮本) 屋根の、一段一段上がっているデザインが、シンボリック。周辺の道路では、犬の散歩をしている人が多かったですね。地域の人たちとつながりの強いところだということを感じました。
(中川) 大きなひさしと木製のデッキが楽しげ。人や道に対して貢献している建物だと思います。古賀君が言った裏側の件は、今後の周辺の計画で大きく変わってくると思います。

(野口) 周辺を取り囲む海や山に対応して、スケールの大きなひさしを用いているのだろう。

(宮本) ボリュームという点を解決させたのが、中庭とひさしだ。

(中川) 屋根と山の稜線が同じ形を描いていた。

(野口) 周辺環境を考慮した計画だと思います。事務所にいる人には、山と海の両方を見たいという意図が伝わってくる。
(古賀) 建築物の中だけで景色が閉じていない。周辺に対してオープンな設計であるだけに、海や山も建築物の一部であるような錯覚さえ覚えます。

(中川) 会議室は、横に床の間があって、居心地が良さそう。座って外を眺めるという視線だから、あの低いひさしなのでしょう。古くから用いられたこういう手法を現代風にアレンジしている。建築として地域に貢献できる場所があるとすれば、中庭を開放することが考えられます。



漁業取締事務所



(宮本) 中庭を開放するのならば、使えそう。

(中川) 会議室の屋根裏をそのまま見せているのは、ここを使う人たちに建築に興味を持ってほしい、見せたいという造り手側の意図があるのではないのでしょうか。

(野口) 屋根裏が見える空間は豊かだと思う。

(中川) 嬉しかったのは、ここで毎日過ごしている人の「明るくて気持ちいいですよ」という一言。この建物、愛されているなあと思いました。



海や川などの漁場を対象に漁業違反の取り締まりを行う施設である。本来港が備えていた生活空間としての役割が試みられ、海側は海の神、幸、富を迎え入れるために、敷地いっぱいにてゲート状の大屋根が配置されている。中庭には、集いの場として重なりあう木製のデッキが広がる。

●事業主/熊本県 ●設計者/小村健治
●所在地/宇土郡三角町東港 ●主要用途/事務所
●建築面積/482㎡ ●延面積/322㎡
●構造/木造+鉄筋コンクリート造
●竣工/1998年2月

漁業取締事務所

建築物の中で景色が閉じていない (古賀)

人や道に貢献している建築 (中川)

海、山のスケールに合わせたデザインに、存在感を感じる

“ギリシャ組”と“日本組”の、 曲線と直線のバランスがいい

あしきた青少年の家

(古賀) 波の形をした屋根がきれいだ。山の稜線と呼応している。なかなかできない曲線だと思います。

(中川) 軽く見える体育館のデザインがいい。和室宿泊棟からの眺めは、海と洋室棟の屋根の波形が計算しつくされています。エントランスの海が見える窓の前に立つと、二つの鳥が目飛び込んでくる。ここにも、この土地の形状を生かそうという設計者の意図が感じられます。全体としては、土地と共にありたいという“ジガンテス&ゼンゲリスのギリシャ組”と、抽象的な建物の“鈴木了二組”がうまく調和している。

(宮本) そう、海側から見たときに、宿泊棟と、食堂・浴室棟、管理研修棟が一体に見えました。曲線と直線。両方のバランスが非常にいい。食堂・浴室棟がその両方の仲介役になっている。

(野口) 造成した土地だから、その傷跡を隠したいという意図があるのでは。波があるから、フラットが生きている。

(中川) 両方がそれぞれ引き立てあっている。

(古賀) とにかく、眺めの素晴らしさは何物にも代えがたい。

土地の形状を生かそうという意図が伝わる(中川)



(古賀) デザイン的には、谷間のVと斜張橋のケーブルの逆Vが反転の関係で美しい。

(中川) 自然の中にあって、「橋ありき」の存在感があります。

(宮本) 同じ規模の橋という点では、牛深ハイヤ大橋は一本の線。牛深の景観にとけ込んでいます。でも、矢部の山の中に何かを置く場合、自然という大きな存在と対等なものでバランスをとるしかないと思う。だから自然に対峙するタイプなんだ。

(野口) 二つの地域を結ぶために、斜張橋とV字橋脚の二つの異なる構造を組み合わせたのかもしれない。お互いに支え合っているように見えます。

(中川) 建築と土木のスケールの違いを感じました。建築よりも土木に持たされたプログラムは少ない。そぎ落とされた中でダイナミックな形ができる。そういう意味では、土木の方がアートに近いのかも。

(野口) 僕はあまり建築と土木の差を感じませんでした。建築も土木も、それぞれ環境の中でのスケール感で考えるという意味ではまったく同じだと思います。

(古賀) 出来上がった時を想像すると、皆驚くのではないかと楽しみです。矢部の市街地から来ると、カーブを曲がった途端、この橋が突然に現れるのだから。通潤橋を代表とする古い橋がたくさんあって、この新しい橋がある。だからこそ、矢部町は橋の町と言えるのではないかと思います。

自然にとけ込むハイヤ大橋に対し、鮎の瀬大橋は自然と対峙するタイプ(宮本)

構造的な挑戦があるからこそ、デザインも美しい(野口)

んだ」と思ってくれば、それが一番だと思います。今回、私たちは施工者側の視点に目を向けさせてもらいました。地域の人には、「あの天草工業高校の近くに住んでいる…」というように、日常で語られるぐらい親しみをもってもらえればいい。

(中川) そうそう。ランドマークとしての役割はすごく大きい。立面の美しさは誰もが認めるところでしょう。私は、実習棟の中を歩いてみて、内部空間では図書館がホッとするスペースとして一番よかったと思います。

(宮本) 夕日を受けて建物の色が変わる。それが印象的でした。

(野口) 古い校舎との接続部分の天井に塗られた赤い色は“血”だと思う。新しい校舎と古い校舎をつなぐ傷跡だと。なぜメタルなのか、白なのか、すべてに意味があるはずだ。

建築も土木も環境の中での スケール感で考えると まったく同じ

鮎の瀬大橋

(中川) 現地に行く途中、若干離れた地点でこの橋を眺めた時、山の中に人工的なものが置かれたときのインパクトはすごいと思いました。

(野口) 僕は、“デザインする”ということの意味を考えています。建築物も土木建造物も、構造的な挑戦がある。技術的な解決があるからこそ、デザインも美しいのではないのでしょうか。



トータルで、洗練されたデザインだ(宮本)

「苦労したけれど、いい建物ができた」という施工者の言葉に感激(野口)



旧校舎を含む長いファサード に流れる一体感

天草工業高校実習棟

(宮本) 同じ表情でデザインしてあり、今回見学した中で僕が一番好きな建物でした。隠れ部分がなく大変だったと施工者の方はおっしゃっていましたが、洗練されたデザインと施工の完成度はすごい。

(古賀) 僕も一番好きです。4期工事分の2階の製図室から1階の実習室が見えて、つながり感がある。海側からのファサードを見ると全体が一つに見える。何階建てかわからないほど、一体感がありますね。

(宮本) パンチメタルの日除けがおとす影がきれいだった。いい装飾だね。

(中川) そう、とてもモニュメンタル。古い校舎に丸い窓がありましたが、あれは新しい校舎とのバランスという面での必要条件だったんだと思います。あれを開けることができたのは、すごい。

(野口) 「苦労したけれど、いい建物が出来て良かった」と、施工者の人が言ってくれたのが嬉しかった。「これは俺が造った



天草工業高校 実習棟

海際という場所性を考慮し、周囲の港らしい構造物と調和してなお詩情あふれるプロムナードを設計。海側のファサードは大型客船のキャビンのように見える。現在ある教室棟の一部を改修し、新しい建物と連結。実習棟および体育館は大きなガラス面を持ち、風の流れを考慮し、恵まれた自然や環境と一体化した室内環境をつくっている。

- 事業主/熊本県 ●設計者/室伏次郎+SDA建築設計事務所
- 所在地/本渡市竜馬町 ●主要用途/工業高校実習棟、体育館
- 建築面積/6,087㎡ ●延面積/12,115㎡
- 構造/鉄筋コンクリート造+鉄骨造
- ※4期工事分まで

鮎の瀬大橋

幅300m、深さ140m側は開けているが、もある。そこで、V型橋ランサを生かしたデザインになっている。ケーブルは2面吊りで緑を背景に際立つオレンジ色。

- 事業主/熊本県
- 所在地/上益城郡矢部町
- 規模/(橋長)390m
- 構造/3経間連続PC

あしきた 青少年の家

というダイナミックな緑川のV字谷にかかる橋。谷の片一方は山がせまっており、谷の斜面中ほどに岩棚が脚と斜張橋の複合という地形に重ね合わせたアンパデザインになっている。ケーブルは2面吊りで緑を背景に

- 設計者/大野美代子+中央技術コンサルタンツ
- 主要用途/橋梁
- (幅員)8m (タワー高さ)198m
- 斜張橋 逆台形1室PC箱桁 ファン形2面吊り

研修施設や宿泊施設が、八代海に迫り出す急峻な敷地に建つ。敷地内の緑を最大限に取り込むために、稜線を削り取らず、建物はすべて低く抑え、天草を望む眺望が確保できるように配置されている。青少年の活動に合わせ、各施設間には歩道や広場が設けられている。

- 事業主/熊本県
- 設計者/エリア・ゼンゲリス+エレニー・ジガンテス+鈴木了二+島村建築設計事務所
- 所在地/戸北郡戸北町鶴木山内 ●主要用途/研修施設、集会施設、宿泊施設、食堂、浴室、体育館
- 建築面積/5647㎡ ●延面積/8104㎡
- 構造/鉄筋コンクリート造+鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造



SPECIAL EDITION

特集●進行プロジェクトを歩く

アートポリスは、考える機会をくれた

(中川) アートポリスがあったおかげで地方に居ながら建築家の話が聞ける。また、その作品はあちこちに行ける距離にあって、建築を学ぶ学生にとってはありがたい。それに、4年に一度の建築展は、地方からの発信という意味があると思います。

(宮本) アートポリスは、天草工業高校と同じく、本で学習することと実際に触れることが一度にできる。建築を学ぶ学生にとってはいい機会だ。

(古賀) 地方にいて、今をときめく建築家たちの話が聞ける。その作品がある現場に気軽に行けることが、うれしい。

(野口) やはり、学生としては、日常的にいい建築物を見ることができるといえる。自転車で行く途中に見られるし、それを見て毎日気づくことが違う。それから、僕は、アートポリスは一般の人とどんなつながりがあるか、一般の人がどう思っているかが大事だと思う。例えば、生活の中でお茶を飲んだり買い物したりスポーツを楽しんだりすることに、アートポリスの建物がどのように役割を果たせるのか。人の心を豊かにできるのか、ということ。10年間でまかれた種が、人々の中でいろんな形に成長しているのではないかな。たくさんの地域に展開している建物を子どもたちが見て、夢を広げてくれたら…、と思います。

(宮本) 熊本市の新都で育ったので、子どものころ、美術館や博物館の周辺で遊んでいました。子ども心に、普通の建物とは違うぞと感ずるものがありましたね。アートポリスの建物が発する印象も、これからの子どもたちに何らかの影響を与えていくんじゃないかな。

(中川) 私は、アートポリスの建築物の中でも好きなものと嫌いなものがある。個々の建物の魅力は、だれにとってもうれしいことだと思えます。建築物のあるエリアが一箇所に限られてい

ないのも、アートポリスの特徴。これらの建物が要因となって新しい人の流れができる。それが熊本の活性化につながればいいなと思います。

(野口) 僕の出身地の福岡にも、ネクサスなど新しい建物をつくっていかうという発想があります。アートポリスは、既存のものと新しいものを共存させていくことに、そしてそれを永く残していくことに意味があると思います。

(古賀) 93年に大学に入学してはじめて、いろんな建物がその地域を考えて建てられていることを知りました。

(中川) どういう理由で、ここにこういう建物が建ったのか、もっとわかりやすく一般の人に伝えられたらいいのに。

(宮本) もっと早い段階でも見てみたい。

(野口) アートポリスは、建物づくりで忘れられたことや、本当に考えなくちゃいけないことを考え直す機会になっている。特に学生にとっては、それが一番ありがたいことです。

学生は、アートポリスをこう考える



アートポリスが新しい人の流れをつくる。熊本の活性化につながれば…(中川)



アートポリスは人とのつながりが大事だと思う(野口)



建築物は、子どもたちにも影響を与えていくんじゃないかな(宮本)



地方にいたら建築家の話が聞け、現場へも気軽に行けて、うれしい(古賀)

その他の進行プロジェクト

S 不知火文化フラザ



参加体験型の生涯学習の場としての機能を持つアトリエを備えた美術館や、くつろげる空間のある図書館からなり、さまざまな利用の可能性があるフレキシブルな空間となっている。騒音を消すため、建物の背後に「緑の柱」を設けており、建物外観のルーバースクリーンが、不知火現象をモチーフにした光のイメージを演出している。

●事業主/不知火町 ●設計者/北川原通+伊藤建築事務所
●所在地/宇土郡不知火町高良 ●主要用途/図書館、美術館
●建築面積/2,133㎡ ●延面積/1,793㎡ ●構造/鉄骨造

K 草千里公衆トイレ



南斜面の高低差を生かし、草千里の景観をこわさないよう設計。切土をした部分の擁壁を壁の一部とし、斜面から連続するように緑化した屋根をかけ、斜面との連続感を持たせている。入口の壁は、利用者のプライバシーや、風の吹き込みなどを考慮しながら、できるだけ開放し、十分な採光と通気を確保している。

●事業主/熊本県 ●設計者/塚本由晴+齋藤百樹建築設計事務所
●所在地/阿蘇郡阿蘇町 ●主要用途/公衆トイレ ●建築面積/106㎡
●延面積/106㎡ ●構造/鉄筋コンクリート造+木造



PROFILE

堀正人氏プロフィール
1957年 新潟県生まれ
1982年 東京芸術大学建築科修士課程修了
1982年～1990年 磯崎アトリエ勤務
1984年～1995年 スペイン在住
1991年 独立
1996年 一級建築士事務所「堀アーキテツ」を開設
1996年 多摩美術大学非常勤講師

デザインが困難な現代の パブリックスペース

パブリックスペース(以下PS)をどのようにデザインするか。これは、現代の建築家に与えられた大きな問題です。そこには、発注者、作り手(デザイナー)、使う人(鑑賞者)の三者が確実に存在します。歴史的に、ヨーロッパのルネッサンスの時代には、ローマ法王が「こういうものを作れ」と言い、ミケランジェロはそれに従って自分の解釈を加えて作品を作る。そして、ある程度教養があるローマの市民が、それを読み解くというふうな、この時代には、三者が何が作りたくて、何を鑑賞したかをはっきりしていました。ある程度、三者で共有できる意識があったわけです。そこに、公共性をそなえたアートやスペースが生み出されました。ところが現代はバラバラです。発注者はお金を出すだけ。作り手は勝手に自分のイメージで何かを創造する。使う人は勝手に自分なりに鑑賞している。はっきりとした合意点などありません。そこが、僕は現代のPSのデザインを困難にしている原因の一つだと思います。

今日では作り手が、発注者や使う人とは距離をおいたまま、独自のスタイルや独自の世界観をもって、生み出した作品が、PSに置かれただけで、パブリックアート(以下PA)と言われています。公共性をそなえたアート、PAを考えるにあたって、この辺の問題を置き去りにする訳にはいきません。

時間の概念を取り込んで、
パブリックスペースの可能性を探究

阿蘇町農村公園 アート・プロジェクト講演会

3月17日、熊本市の水前寺共済会館において、阿蘇町農村公園アート・プロジェクト「阿蘇・散墨園」の設計者の堀正人氏が講演を行い、その後、堀氏を囲んでの交流会が行われた。堀氏の作品は、一昨年の10月の公開コンペにより、167点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれたもの。4月にオープンする「阿蘇・散墨園」の設計にあたって考えたことなどを中心に話が進められた。



「阿蘇・散墨園」にまつわる 三つの時間

それでは、どんなことを手掛かりにPAを考えていけばいいのか。今回、僕はPS、PAというものに、時間の概念をどう取り込むかを考えました。時間の概念も整理すると、三つに想定できると考えます。

①人間の動きに伴って意識されるような時間。連続する流動的な空間、人間の視点の動きに伴って、だんだんと変化していく。そういう動きと変化で空間が構成されます。

②リアルな時間。造形芸術(PSもこれに含まれます)とほかのジャンルの芸術との違いは、実体(物)があるということです。実体があるということは必ず変化します。風化したり、建物はある時期に作り変えられたりします。

③メタフォルカル(隠喩的)な時間。計画そのものに時間の概念を織り込んだものです。今回の計画では、樹(丸太)を焼いて、火や水のイメージをほかのものに移しかえる。これは時間を象徴化することになります。

「阿蘇・散墨園」内には築山があって、その尾根を歩けるのですが、それによって感じる空間が時間の経過でさまざまに変化します。人間の動きに関わる時間を織り込んだデザインになっています。また、全体が玉砂利と築山で構成されています。その中に転がっている丸太を岩に換えると枯山水のようになりますが、ここにも、メタフォルカルな時間を取り込まれているといえます。通常は、枯山水という中に入れませんが、これは、中に入ることができる。丸太がベンチになったり子どもの遊具になったりすることも考えました。丸太を焼くということで僕がイメージしたのは、阿蘇山の噴火。歴史上の時間を織り込みました。リアルな時間、これは、芝を築山に植えています。芝も丸太も時間とともに変化していきます。また、阿蘇の野焼きという行事もイメージできる。これもまた、一つの時間を取り込んでいられると言える例でしょう。

田園における パブリックスペースの可能性

都市の中でのPS、PAと言われる例はたくさんあります。しかし、今回は田園の中。PSというものがない可能性を持つかという点で悩みました。そして、なるべく地元の素材を使おうと、実施設計段階で考えました。実は、園内に使った砂利も、白い砂利がイメージだったのですが、近くの緑川の黒っぽい砂利の方を選びました。築山の稜線も、最初はレンガの予定だったのですが、阿蘇の直径60cmほどの溶岩を、築山の尾根に脊髄のように埋めることにしました。また、照明器具を園内に埋め込む予定でしたが、空や太陽光を反射する方がいいと、アルミの鋳物の反射盤に変わりました。

今こそ法隆寺は奈良の盆地の風景になじんでいますが、できた当時はキンキラの仏像に赤い柱、ピカピカの瓦と、中国の建築様式そのまま、違和感があったと思うのです。それでも、今日これだけなじんでいるということは、それだけの価値があったということです。結局は、PSの価値も最終的には時間が答を出してくれると僕は考えています。



阿蘇町

雄大な自然はそのままに、あらゆるものが融合したまちづくりを



阿蘇町商工会
会長
石本春夫氏



阿蘇百姓村
村長
山口力男氏



阿蘇環境デザインセンター
事務局長
若井康彦氏



熊本県建築士会阿蘇支部
支部長
佐藤敏満氏

広々とした大自然に抱かれた阿蘇町

いまなお噴煙を上げ続ける中岳をはじめ、草千里に連なる優美な姿の烏帽子岳、ノコギリの刃のような山頂の根子岳…。そのどれもが特徴的な阿蘇の五岳は、熊本、そして九州のシンボルとしても広く知られている。外輪山に囲まれた大カルデラは、周囲128km、東西の内径24km、南北の内径24km、面積380km²と世界最大級だ。その阿蘇五岳と北外輪の間、阿蘇谷と呼ばれる平野に阿蘇町は広がっている。

阿蘇町には、この4月、アートポリス参加作品の「阿蘇・散墨園」が完成する。これは、一昨年に開催された「熊本国際建築展くまもとアートポリス'96」で公募され、アートポリスコミッショナーの磯崎新氏を審査員とする公開コンペ167点の応募の中、最優秀作品に選ばれたもの。「阿蘇町農村公園 あびか」にはいろいろな運動施設がそろっており、その一角が「阿蘇・散墨園」となっている。これは、すでに県の施設として西湯浦地区に造られている草地畜産研究所畜舎、草千里公衆トイレに続いて、3つめのアートポリス参加作品となり、地元の人々の憩いの場として利用されると同時に観光資源としても期待されている。

新旧を融合した、まちのイメージづくり

阿蘇山周辺には12の町村がある。その中で阿蘇町は、良質で豊富な湯量を誇る内牧温泉を中心に観光地として栄え、国や県の行政機関が集中する一の宮町と並んで、ほかの町村のリーダーシップをとってきた。現在、30軒近い大小のホテル、旅館、民宿が軒を並べており、今年が開湯100年。阿蘇町には年間400万人を上回る観光客が訪れている。ここから望む五岳の景観は、釈迦の涅槃像に例えられ、サルトルやポーヴォワール、与謝野鉄幹・晶子夫妻、国木田独歩らも、この地を踏んでいる。また、夏目漱石はここで体験をもとに「二百十日」を書きあげた。漱石が小説を書いたごちんまりとした二階建ての書斎は、ホテル「山王閣」の庭園の一隅に保存されている。

「阿蘇には1500年の歴史がある。それを無視しての今後のまちづくりは考えられない」と語るのは、阿蘇町商工会会長の石本春夫氏。阿蘇は、神武天皇の孫にあたる健甕命（タケイワタツノミコト）が開拓した地といわれており、阿蘇の名前は、日本最古の歴史書「日本書紀」にすでに見られる。地名に関す

る神話や伝説も多い。「著名人たちにまつわる場所も含めて、それらを打ち出したまちづくりの可能性も考えていきたい」と石本氏は考えている。

今年、町の中心部には地元の人たちが資金を出し合ったアーケードが登場した。一方、歴史を感じさせる道路も整備され、新しいものと古いものがクロスしつつ、点から線に、線から面になっていくようなまちづくりが徐々に行われている。

農業と観光を結びつけて、 住む人の意識改革を

昭和63年から、阿蘇町では「農村リゾート構想」が進められている。これは、観光客に農家に民宿してもらい、農業体験を行ってもらおうというもの。阿蘇町は第一次産業従事者の割合が高い。そこで、観光地としての阿蘇と農業の町阿蘇をなんとか一緒にできないかと考えられている。数年前より阿蘇の特産品をメインに、観光客と農家の人の交流を図る「阿蘇町農業フェア」も行っている。

田植えや野菜の取り入れなどの体験ができる『阿蘇百姓村』を平成7年から主宰する山口力男氏は、「今は農家にとって明るい状況ではない」と語る。と同時に、農家側の意識改革の必要性も感じている。「農家だから子どもが後を継がなきゃならないという考え方では、この先続いていかない。帰りたくない息子を無理に引き戻すより、農業をやってみようという新しい住民を受け入れることが大事。『阿蘇・散墨園』は、それそのものを評価することが大事なことでなく、町民が好きとか嫌いとか意見を述べ合って、一人ひとりが町のことについていろいろと考えるきっかけになってくれればと思う」

阿蘇の雄大な景観は、阿蘇町だけのものではない。阿蘇全域のトータルデザインを考える阿蘇環境デザインセンターの若井康彦氏は、「阿蘇は比類のない景観。風景として開けているので、目ざわりなものも本当に目ざわりに感じられる。しかし、巨大なだけに、飲み込もうと思えば、何でも飲み込めるところでもある」と阿蘇を語る。「建築物の形は、結果にすぎない。新しい仕組みが生まれる時、人の新しい関係が築かれ、必要なデザインができあがっていく」と若井氏は、現在、人と人とを結びつけるソフト面の強化に力を入れている。

住民の意識がまちをつくる—HOPE計画

阿蘇町のまちづくりに携わっているのが、支部長の佐藤敏満氏をはじめとする熊本県建築士会阿蘇支部の会員たちだ。阿蘇町ではHOPE計画と名付けられたプロジェクトが平成4年度から進められている。HOPE計画は、地域の特性を生かしながら、将来に継承しうる質の高い居住空間を整備し、良好な地域社会の形成を目指して全国の数々の市町村で実施されている。

地元住民と建築士、行政の代表など、いろいろな立場の人が集まって会議や勉強会、町内視察などを行い進められるまちづくり。すでに、町営の「狩尾団地」をはじめ、阿蘇駅から西蔵殿寺に至る「行者通り・仲小路」の整備も完成した。広報誌も発行され、HOPE計画という言葉は町民にも浸透してきている。町民の建築に対する意識も少しずつ高まり、「自分たちの町を自分たちの手でつくってほしい」という自発的な思いは、確実にまちづくりに反映されていくと佐藤氏は考えている。「アートポリスは、まちづくりを考えていく阿蘇町の若い建築士たちにとって刺激を与えてくれると思う」

一昨年に行われた「熊本国際建築展くまもとアートポリス'96」では、阿蘇町はまちづくり展の会場の一つに選ばれている。その際、建築士会阿蘇支部の人たちは、阿蘇駅周辺の開発を軸にした構想を模型にし、提示した。生活の基盤を便利な駅前周辺に配し、若い世代や子育てをする人たちが町を出ていなくても暮らしやすいよう、理想とするまちづくりを考えたのだ。



住民も参加して完成した町営の狩尾団地

数々の運動施設がそろった「阿蘇町農村公園 あびか」



過ぎていく時間の中で、 建築物の真価が問われる

阿蘇町はいま動いている。交通網の発達や道路整備が行われたことにより、観光客が町内に留まる時間が短くなった。どうしたら滞在してもらえるか。その課題を抱えたまま、さまざまな取り組みを行っている。

黒川地区には、歴史を学べる「ファイントリーパーク」というテーマパークの建設が予定されており、大観峰のふもとには、観光とタイアップした農業施設（モデル温室、総合交流ターミナル施設など）を計画中である。

いまと昔、農業と観光、風景と建築など、一見相反するものも、どちらかを排除するのではなく、融合させながら行われていく阿蘇町のまちづくり。大自然が造り上げた雄大な阿蘇の風景の中で、これから建築物はどんな役割を担い、どんな主張をしていくのか。太古の昔から連綿と続いてきた悠久の時間など、時間の概念をテーマにしているという「阿蘇・散墨園」も、いずれ一つの答えを出してくれるに違いない。

自然豊かな宇土市の海岸沿いに、この夏完成するマリナー施設。平成11年に開催されるくまもと未来国体ではヨット競技の会場になるほか、公園、レストラン、研修室など、一般の人のレクリエーション施設として活躍する予定。地元住民の間でも「これで町が活気づけば」と、大きな期待が寄せられています。その宇土マリナークラブハウスの設計を担当したのが、建築家の吉松秀樹氏です。

Hideki Yoshimatsu

市民の生活の場となる
未来型マリナーパーク

今回の施設は、マリナーの管理、運営という要素にレストラン、研修などの機能を加えたものです。こうした複合施設は意外と事例が少なく、また海沿いに立地するという条件もふまえて、海外の事例などを参考に、設計計画を検討してきました。

基本構想段階での重要なポイントは、公共施設としてのマリナーをどうとらえていくかということ。マリナー施設とそれに付随する公園という考えではなく、エリア全体を総合的なマリナーパークとしてとらえ、マリナー自体が生活の場である新しい施設像を考えました。海や公園も建築の一要素としてとらえ、相互の関係を重視して全体の配置計画やデザインを練っています。



修理庫



船庫



クラブハウス

シリーズ
17

くまもとアートポリス参加建築家に聞く

宇土マリナークラブハウス 吉松秀樹氏



ウォーターフロント開発には 都市デザイン的な視点が必要

ふらっと遊びに行ける公園のような施設

また、関係者だけでなく地元の人にも利用してもらえるよう、敷地を機能面で区分せず、一体感をもった公園となるように全体計画をしています。例えば、施設は海沿いに置き、駐車場は敷地内にループ状に配置。公園各所へのアクセスシビリティを高めると共に、公園部分では一体となった緑のスペースを確保するなど、敷地東側の海岸とマリナーパークが連続して利用できるように配慮しました。誰でも気軽に遊びに来られる公園にすることで、マリナーを生活の場へと近づけていく構想です。

単なる建物ではなくひとつの町づくりを

マリナーパークには公園に集う人と、マリナーを生活の場とする人の「家」であり「街」であるような施設イメージが求められています。町並みが形成できるように整備することによって、ウォーターフロントはより魅力的なスペースとなります。従って、今回のマリナーハウスは、ひとつの建築としての計画ではなく、クラブハウス、レストラン、研修室など、いくつかに分かれた建築を寄せ集めたイメージ。つまり、各々が人間的な等身大の建築です。機能的に大きくならざるを得ない修理庫、艇庫を除いて、住宅スケールの建築が集合した、人に優しい複合施設となるよう計画しました。

立地条件を最大限に活かした ウォーターフロント開発

もう一つの特徴は、クラブハウスがドックシステムを望むウォーターフロントに配されていること。ウォーターフロントエリアは、将来、物産館などのアネックス施設の計画用地としても考えられ、マリナーの成長にあわせて、さまざまに発展しうる場所です。また、レストランの客席部分やオーナーズラウンジ、そして広場を伴う2つのテラスなど、人がくつろぐ場所をすべて海に面して設計することで、いつも身近に海を感じることができます。「ウォーターフロントにある街のような施設」。それが宇土マリナークラブハウスです。

推進賞

県下各地の優れた建造物等6作品が受賞 1997年度「くまもとアートポリス推進賞」

建築文化に対する県民の理解を深めるため、毎年、優れた建造物等を表彰している「くまもとアートポリス推進賞」。建物のデザインだけでなく、建物の維持管理や地域への貢献度など、さまざまな観点から審査が行われ、3回目の本年度は、6点が推進賞選賞に選ばれた。

久連子 古代の里

事業主/泉村
設計者/龍環境計画
施工者/岩崎建設
宮崎工務店
梅田建築
用途/多目的集会室・展示室
特産品加工販売・食堂
育苗温室・鶏舎



主な 受賞理由

個々の建物としても、一つの集合体として強い「場の意味」を与えているという点でも非常に印象的なデザイン。計画段階から具体的施設づくりまで村人総出で、ワークショップを重ねつつ共同で進められた。山奥の村の長い歴史と現在の村人の暮らしの両方を、単純で優雅な方法で表現している。

水俣市 洗切団地

事業主/水俣市
設計者/高木富士川計画事務所
施工者/吾松建設・浜田建設・クキタJV
用途/共同住宅



主な 受賞理由

狭小な敷地の中に、適度に分節されたスケールをもち、周囲の低層住宅とも違和感がない。細やかな工夫や共用部分の配慮などが見られ、設計段階で住民参加方式を採用したという設計者の熱意が感じられる。

人吉の舎II/平井邸

事業主/平井浩二
設計者/ばん設計小材事務所
施工者/速永工務店
用途/専用住宅



主な 受賞理由

nLDKという間取りではなく、大きな空間のなかにそれぞれの機能を持った領域が立体的に配置されているおらかな構成が印象的。若い5人家族の住宅で、家族の成長とともに、住み手が手を加えながら、その変化に十分対応しているキャパシティをもっている。

養護老人ホーム 八代市立保寿寮

事業主/八代市
設計者/伊東豊雄建築設計事務所
施工者/五洋建設・盛建設・米本工務店JV
太田電気八代支店・小林電工JV
第一設備工業・吉田設備・山下水道設備JV
用途/養護老人ホーム



主な 受賞理由

八代海に向かって軽やかに明るく開いた建築で、フラットな大きな屋根を壁と柱で支え、そこを風が吹き抜けていくような空間構造が見事。八代の「懐い」というイメージを顔において造られている。

丸尾焼工房

事業主/クラフト・ワン
設計者/上田憲二郎建築事務所
施工者/吉永産業
用途/工房、ギャラリー



主な 受賞理由

のびやかで使い勝手よさそうな手ごころな空間。展示場の外壁にはめこまれた陶板や土壁からは、建設に携わった人たちの温かい思いが伝わってくる。展示場や中庭では、作品の展示のほかコンサートなどの文化活動も行われ、新しい文化の拠点としての発展も期待される。

浮島周辺水辺公園

事業主/嘉島町
設計者/九州ランドスケープ
施工者/吉川建設、高村建設
木下建設、宮下組
大森建設、奥村工務店
上野造園、山田土木
河原工務店、梅荘園
三和樹木苑
用途/親水公園



主な 受賞理由

人と野生動物が共生する空間づくりを目指した環境共生型公園は、21世紀の地域づくり大いに貢献するもの高く評価された。水辺の護岸を伝統的な護岸工法の木工沈床、空石積み、蛇籠工法などで土留めを行い、生物が産卵・生息する生活環境を確保し、悠久の郷を思わせる景観もある。

くまもとアートポリスプロジェクト関連の受賞紹介

八代広域行政事務組合消防本部庁舎が、第38回建築業協会賞(BCS賞)を受賞

建築業協会より、第38回建築業協会賞が発表され、「八代広域行政事務組合消防本部庁舎」が受賞した。当施設は1995年に、「くまもとアートポリス推進賞」を受賞した施設で、八代市立博物館・未来の森ミュージアムなどを手掛けた伊東豊雄氏の設計によるもの。



所在地／八代市大村町
事業主体／八代広域行政事務組合
設計／伊東豊雄建築設計事務所
施工／大日本土木
敷地面積／8,390㎡
建築面積／3,329㎡
延面積／5,392㎡
竣工／1995年3月

有明フェリー長洲港ターミナルが、第12回日本建築士会連合会賞を受賞

日本建築士会連合会より、第12回日本建築士会連合会賞が発表され、「有明フェリー長洲港ターミナル」が作品賞を受賞した。

当施設は、熊本の西の玄関口として、長崎県多良良港との間を就航するフェリーのターミナル。石田敏明氏の設計による1995年のアートポリス参加作品。



所在地／玉名郡長洲町長洲
事業主体／有明海自動車航送船組合
設計／石田敏明建築設計事務所
施工／岩下建設
敷地面積／3,978㎡
建築面積／586㎡
延面積／976㎡
竣工／1996年3月

'97年度のくまもとアートポリスに関連する主なできごと・視察者・掲載雑誌

■主なできごと

「見学ツアー」

9/12~14 (参加者56名)
11/8 (参加者40名)
11/22 (参加者80名)

「講演会」

9/11 「武田光史氏講演会」(アートポリスを考える会主催)
3/17 「堀正人氏講演会」(アートポリスを考える会主催)

「プロジェクト・パネル展」

6/21~22 (中小企業大学校人吉校施設見学会)
10/18~19 (熊本農業公園「住宅フェア」)

その他

7/15~8/17 「リチャード・マイヤーとフランク・ステラ
建築と絵画の接点」
(熊本県立美術館分館)

■視察者

(国内)

大阪大学・神奈川大学・九州東海大学・京都精華大学・
熊本大学・熊本県立大学・熊本工業大学・信州大学・多
摩美術大学・東海大学・東京芸術大学・東北芸術工科大学・
東京理科大学・日本大学・北海道大学・有明工業高等専
門学校・岐阜工業高等専門学校・専門学校桑沢デザイン研
究所・メキシコ大使館

(海外)

イリノイ大学ボグナル教授(アメリカ)・国立美術館プラウ
ン永久館長(アメリカ)・テキサス大学(アメリカ)・建築士会
(韓国)・(株)大宇(韓国)・建築家キム・ジン・アイ氏(韓
国)・日本建築視察ツアー(ドイツ)・FIA(フランス)
ほか1,300名以上の方々(順不同)

事務局で確認されたものを掲載

■掲載雑誌

●牛深ハイヤ大橋

『新建築』(97.11)
『日経アーキテクチャー』(97.11.24)
『日経コンストラクチャー』(97.10.10)

●県立天草工業高校実習棟

『新建築』(98.2)
『日経アーキテクチャー』(98.3.9)

●うしぶか海彩館

『新建築』(97.11)
『建築文化』(97.11)

●ふれあいセンターいすみ

『新建築』(97.6)
『建築文化』(97.6)

●慈愛園 ノーマンホーム

('96 KAP 推進賞)
『建築文化』(97.10)

●水俣メモリアル

『新建築』(97.5)
『日経アーキテクチャー』(97.11.24)

●パークドーム熊本

『新建築』(97.11)
『日経アーキテクチャー』(97.10.20)
(98.2.16)

●くまもとアートポリス設計者選定の大きいなる実験

『造景』(97.8)

●文化事業を訪ねる旅くまもとアートポリスを見る

『旅の手帖情報版「熊本」』

INFORMATION

自然とのふれあいによる 安らぎの空間の提案を

鹿北町アート・プロジェクト・ コンペティション開催中

公開審査

日時／1998年5月22日(金) 13:00~
場所／鹿北勤労者体育センター
(鹿本郡鹿北町大字4丁1612)

表彰式

日時／1998年5月29日(金) 13:30~
場所／鹿北町役場
(鹿本郡鹿北町大字4丁1612)

問合せ先

鹿北町役場総務課企画係
TEL.0968(32)3111



現在、鹿北町のアート・プロジェクトのコンペが行われている。鹿北町は、熊本県と福岡県の県境に位置し、町の総面積の70%を山林が占め農林業を基盤とする町。現在、恵まれた森林資源を生かすため「幸の国」づくりを進めており、「道の駅・鹿北(小栗の郷)」を「都市と農村の交流の場」として、ここを拠点に地域の活性化を目指す予定。今回公募されるのは、その後背地にあたるスペースのデザイン。変化に富んだ地形や樹木などを利用したランドスケープ計画で、自然とのふれあいによる安らぎのある空間の提案が求められている。審査員には、くまもとアートポリス参加建築家の岡部憲明氏があたり、審査は公開審査方式で行われる。

新規プロジェクトが決定!



プロジェクトの敷地に訪れた牛田英作氏(写真右)

水前寺江津湖公園管理棟 (設計者:牛田英作+キャサリン・フィンドレイ)

水前寺江津湖公園は、近くに熊本市営の動植物園や、ボート乗り場、湧水池があり、大学生や高校生のボートの練習場にもなるなど、「水と緑に囲まれた景勝地」として熊本市民に親しまれている。現在、当該敷地を含むエリアの総合的な整備が進められており、公園の管理棟が57番目のアートポリス参加プロジェクトに決定した。管理棟は、約250㎡の木造平屋になる予定。周囲の環境に調和し、より親しみのある公園景観の整備が求められており、屋上緑化による自然との融合や、省エネルギーなどが現在検討されている。

プロジェクトを見に行こう!

アートポリス参加プロジェクトで行われる主な催しをご紹介します。参加プロジェクトの見学スケジュールを立てる時に役立ててください。

◆県立美術館分館

4/3~5/10 「マリリン・モンローとエルヴィス・プレスリー展 アメリカン・ポップ・カルチャーの聖像」

◆県立装飾古墳館

4/28~5/31 今どきの考古学、くまもと考古学展

8/1~2 夏休み親子古代体験キャンプ

◆村立橋+Pホール

4/15~5/15 鯉のぼり祭り

8/15~16 夏祭り

◆馬見原橋

7月下旬 水遊祭

◆三角フェリーターミナル

7月下旬 海の日協賛 三角港祭り

◆清和文楽館

5/2~5 ゴールデンフェスタ清和文楽特別公演

8/14 お帰りのなさいフェスタ

◆八代市立博物館・未来の森ミュージアム

4/24~5/31 下関市立美術館所蔵品展

高島北海とアール・ヌーボー

◆湯の香橋

8月上旬 湯の香まつり

◆ふれあいセンターいすみ

6/6 新茶品評会

8/29 いすみアウトドアシアター&ネイチャー

クラブ教室

10/20~11/15 五家狂紅葉まつり

◆うしぶか海彩館、牛深ハイヤ大橋

夏休み期間の毎週土曜日夜 いざり火探検

◆教会の見えるチャペルの鐘展望公園

8/1 教会の見える崎津みなとのフェスティバル

Kumamoto Artpolis Project Guide

凡例/番号プロジェクト名
 設計者...主な用途...竣工年月
 住所...行き方...開館時間、休日、入場料など...連絡先



1 熊本北警察署
 篠原一男+大塚設計事務所...警察署...90年11月
 熊本市草葉町5-13...熊本交通センターからバス「白川公園前」下車...内部見学、写真撮影は要許可、バス駐車不可...熊本北警察署総務課096-323-0110



2 県営保田窪第一団地
 山本理路...共同住宅...91年8月
 熊本市市山1-28...熊本交通センターからバス「上保田窪」下車...外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません



3 加久藤トンネル換気所
 小山明+パンフィクコンサルタント...機械室...98年10月
 大市大畑町、宮崎県えびの市東川北...国道221号加久藤トンネル換気所...外観のみ見学可



4 三角港フェリーターミナル
 葉祥栄...待合所...90年2月
 宇土郡三角町大字三角港...JR三角駅前...0964-53-1255



5 八代市立博物館・未来の森ミュージアム
 伊東豊雄...博物館...91年3月
 八代市西松江町12-35...JR八代駅前からバス「法務局・博物館前」下車...9:00~17:00...月休...入場300円(常設展)...0965-34-5555



6 熊本市花畑パークトイレ
 大塚豊...公共トイレ...89年10月
 熊本市花畑町6...熊本交通センター前、花畑公園内...近隣に有料駐車場あり



7 熊本市上江津湖畔トイレ
 日田光...公共トイレ...89年5月
 熊本市神水本町1-6...JR熊本駅から市電「八丁馬場」下車



8 熊本市営新地団地A
 早川邦彦...共同住宅...91年5月
 熊本市清水町新地1917-58...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



9 熊本市営新地団地B
 緒方理一郎...共同住宅...92年3月
 熊本市清水町新地1917...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



10 熊本市営新地団地C
 富永康...共同住宅...93年10月
 熊本市清水町新地1917-58...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



11 熊本市営新地団地D
 西岡弘...共同住宅...95年6月
 熊本市清水町新地1924、1953...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



12 熊本市営新地団地E
 上田寛二郎...共同住宅...95年6月
 熊本市清水町新地1953...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



14 熊本市営託麻団地
 坂本一成+長谷川逸子+松永安光...共同住宅...94年4月
 熊本市託麻3-2...熊本交通センターからバス「託麻団地入口」下車...外観のみ見学可、駐車不可



16 牛深ハイパブリック
 レンゾ・ピアノ+ピーター・ライス+岡部憲明+マエダ...橋梁...97年8月
 牛深市牛深町...本渡バスセンターから牛深行きバス「牛深」下車



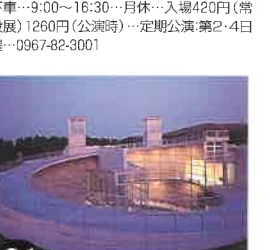
17 県営帯山A団地(公開コンペ)
 新納至門...共同住宅...92年3月
 熊本市市山1-23...熊本交通センターからバス「上保田窪」下車...外観のみ見学可、駐車不可



18 玉名市文化施設構想
 豊田文生...構想完了
 玉名市



19 湯の香橋
 岸和郎...遊歩橋...91年3月
 芦北郡芦北町湯湯...JR湯湯駅からバス「湯湯橋」下車...夜間照明19:00~22:00...夜間0966-82-2511



20 清和文楽館
 石井和雄...文楽劇場・展示館...92年3月
 上益城郡清和村大字大原152...熊本交通センターから馬見原行きバス「清和文楽館」下車...9:00~16:30...月休...入場420円(常設展)1260円(公演時)...定期公演:第2・4日曜...0967-82-3001



21 県立装飾古墳館
 安藤忠雄...歴史資料館...92年4月
 鹿本郡鹿本町岩瀬3085...山鹿産交バスターミナルから車...9:30~17:00...月休...入場410円...0968-36-2151



23 駅の瀬大橋(工事中)
 大野美代子+中央技術コンサルタンツ...橋梁
 上益城郡天部町



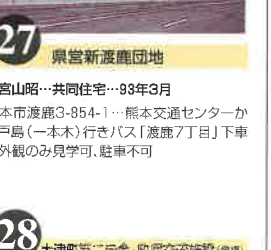
24 公園ファニチャーデザイン・同整備マニュアル(構想)
 沖健次+東京ランドスケープ研究所...完了
 玉名市



25 松島町合津終末処理場管理棟
 齋藤宏...管理棟...92年3月
 天草郡松島町大字合津4276-387...JR三角駅から松島行きバス「松島バスターミナル」下車徒歩10分...見学・写真撮影要許可...0969-56-3195...8:30~17:15...土日祝休



26 石打ダム管理所
 青木茂...ダム管理所...91年2月
 宇土郡三角町中村...JR石打ダム駅から徒歩...外観のみ見学可



27 県営新渡団地
 小宮山昭...共同住宅...93年3月
 熊本市渡鹿3-854-1...熊本交通センターから戸島(一本木)行きバス「渡鹿7丁目」下車...外観のみ見学可、駐車不可



29 玉名天望館
 高岡正治...展望・学習コミュニティ室...92年9月
 玉名市大倉字高田1144...熊本交通センターから玉名、荒尾行きバス「玉名大橋」下車...玉名市都市計画課0968-75-1122



30 大甲橋景観整備(構想)
 倉俣史郎...橋梁・設計完了



31 草地畜産研究所畜舎
 トム・ヘネガン+イン・ダグフィンズ+トウモロコシ+古川建築事務所...畜産研究所施設
 阿蘇郡阿蘇町大字西湯湯...JR阿蘇駅より車...0967-32-1231



32 再春館レディースレジデンス
 妹島和世+女子社員寮...91年7月
 熊本市市山4-323-1...熊本交通センターからバス「保田窪本町」下車...外観のみ見学可...再春館製菓所総務課096-384-5555



33 県立美術館分館
 エリアス・トレス+ホセ・A・M・ラベニャ+大和設計...美術館...92年10月
 熊本市千早町2-18...9:30~18:30(土・日など17:00まで)...熊本市役所から徒歩5分...月休...096-351-8411



34 湯前まんが美術館・公民館
 桂英昭...美術館・公民館...92年11月
 球磨郡湯前町字上牧原1834-1...くま川鉄道湯前駅下車...9:00~17:00...入場料300円...0966-43-2050



36 つなぎ物産ギャラリー
 北山孝二郎...物産センター・公園...92年5月
 芦北郡津奈木町岩城1801...JR津奈木駅よりバス「竹中」下車...9:00~18:00...第1水休...0966-78-2000



37 教会の見えるチャペルの展望公園
 梅田正徳+スペースデザイン設計事務所...公園...93年3月
 天草郡河浦町崎津字上295...本渡バスセンターから牛深行きバス「一町田中央」下車、富岡行きに乗り換え「教会入口」下車...河浦町役場企画調整室09697-6-1111



38 花の温泉館
 ワークショップ...温泉センター・レストハウス...93年11月
 阿蘇郡山田村大字田原68-1...JR宮地駅から車...10:00~21:00...第1・3・5水休...入浴500円...0967-25-2341



39 TOTO AQUAPIT ASO
 木島安史...公共トイレ...92年3月
 阿蘇郡白木村大字中松古坊3845-19...阿蘇山ロープウェイ阿蘇山西駅前



40 白川景観整備
 藤江和子...橋梁...92年11月
 熊本市二本木...JR熊本駅より徒歩



41 杖立橋+Pホール
 新井清一...歩道橋・多目的ホール...96年3月
 阿蘇郡小国町大字下城



42 石打ダム資料館
 入江隆一...資料館...93年3月
 宇土郡三角町中村字八久保3629-2...JR石打ダム駅から徒歩...9:00~17:00...月休...0964-54-1191



43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所
 吉谷誠章+中川建築設計事務所...展示施設・休憩所...94年7月
 天草郡松島町永浦島...熊本交通センターから産交バス本渡行き「産交入口」下車...9:00~17:00...月休...0969-56-3665



44 うしぶが海彩館
 内藤麻...水産観光センター...97年3月
 牛深市牛深町2286...本渡バスセンターから牛深行きバス「牛深」下車...9:00~18:00...第3水休...駐車可...09697-3-3818



46 馬見原橋
 青木淳+中央技術コンサルタンツ...橋梁...95年6月
 阿蘇郡蘇峰町大字馬見原滝上地内...駐車可...夜間0967-83-1111



47 天草工業高校実習棟(工事中)
 室伏次郎+SDA建築設計事務所...工業高校実習棟・体育館
 本渡市島田町...本渡バスセンターからバス「工業高校前」下車



48 熊本北警察署併井交番
 マニュアル・タルディツツ+加茂紀和子...交番...95年3月
 熊本市坪井町1-1-1



49 ふれあいセンターいすみ
 武田光史+ロゴス設計同人...観光案内センター・物産館...97年3月
 八代郡泉村大字...交通センターから氷川ダム行きバス「堀切」下車徒歩3分...駐車可



50 有明フェリー-長洲港ターミナル
 石田敏明...待合所...96年3月
 玉名郡長洲町長洲字下原2168-22...JR長洲港からバス「長洲港」下車...6:00~20:00...0957-78-3358



51 荒尾警察署長洲交番
 塚本政利+設計機構ワークス...交番...96年3月
 玉名郡長洲町大字長洲下原2006...夜間0967-83-1111



52 あしたの青少年の家(工事中)
 エリア・ゼンゲリス+エレニー・ジガンテス+鈴木二十島村建築設計事務所...青少年教育施設
 芦北郡芦北町鶴木山地内...JR佐敷駅より車で20分



53 草千里公共トイレ(工事中)
 塚本由晴+菅野建築設計事務所...公共トイレ
 阿蘇郡阿蘇町



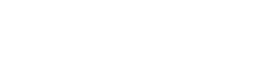
54 宇土マリナークラブハウス(工事中)
 吉松秀樹...マリナー・レストラン
 宇土市下郷町...JR宇土駅からバス「平岩」下車



55 阿蘇-放鳥園(公開コンペ)
 堀正人
 阿蘇郡阿蘇町黒川字北塚...JR阿蘇駅からバス「成川」下車徒歩10分



56 漁業取締事務所
 小村健治...事務所...98年2月
 宇土郡三角町大字三角浦字首入1160-179...JR三角駅から徒歩...0964-52-2183



57 水前寺江津湖公園管理棟(設計中)
 牛田英作+キャサリン・フィンドレイ
 熊本市広木町地内